

# 車両周辺視界情報提供装置の試験方法・評価方法の方針について(案)

## 1. 評価対象とする装置

### 【装置種類】

- ・ 車両周辺の映像をドライバーに提供する装置を対象とする。
- ・ 全方位を同時に表示する方式（アラウンドビューモニター等）だけでなく、前・側方や後方を独立して表示される方式の装置も評価対象とする。
- ・ 歩行者等に係る警報装置があった場合は安全作動率を勘案して加点する。



ミラー表示型



アラウンドビュー

バックビュー



フロントビュー



サイドビュー

### 【装備方式】

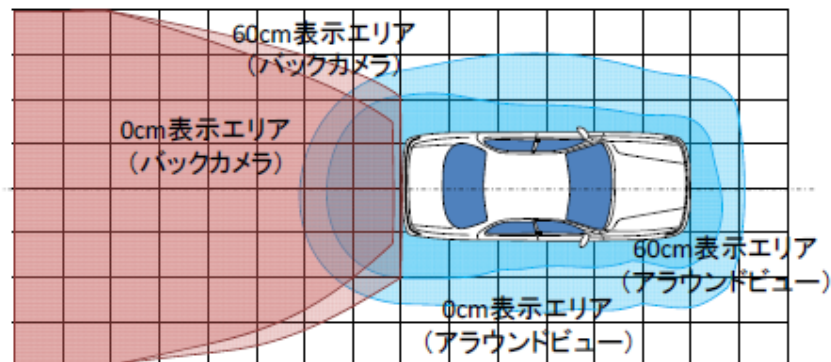
- ・ アセスメント評価対象は、メーカー標準やメーカーオプションの装置だけでなく、メーカー指定のディーラーオプション（自動車製作者により設計されたカメラおよび表示モニターを販売店にて取り付けるオプション装備）も対象とする。

評価対象とする装備方法

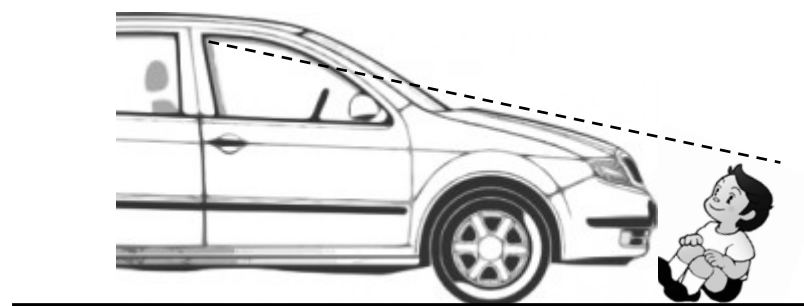
メーカー標準	メーカーオプション	ディーラーオプション(メーカー指定)	ディーラーオプション(ディーラー設定)
対象	対象	対象	対象外

## 2. 評価する情報提供エリア

- ・ 車両周辺視界情報提供装置の評価においては、社会的なインパクトや事故当事者の悲惨さを鑑み、年少者事故（特に縁故者事故）の対策になることを念頭におく。
- ・ 年少者事故の発生傾向を調査し、事故が発生しやすい範囲を特定する。
- ・ 年少者の体格を考慮した評価対象物を用いる。



【評価範囲のイメージ】



【評価対象物の検討イメージ】

## 3. 評価得点について

- ・ 前・側方と後方とに分けて評価する等作動範囲に応じて、個々の得点を加点する。
- ・ 他の評価装置との整合を考慮し、全年齢層を対象としたマクロ事故データを用いて評価得点を求める。

※評価得点案算出時の主な事故マクロデータ集計条件

事故類型：人対車両

事故要因：発見の遅れ（安全不確認）

行動類型：発進、左折、転回、後退

危険認知速度：20km/h以下に限定

パラメータの設定値：適合率=1.0、危険検出率=1.0、安全作動率=0.5

評価得点(例)

評価エリア	得点
前・側方エリア	1.5
後方エリア	4.5
全エリア合計	6.0